

並松地区の景観

平成31年2月4日

1.並松地区の歴史	1
2.並松地区の概要	8

1.並松地区の歴史

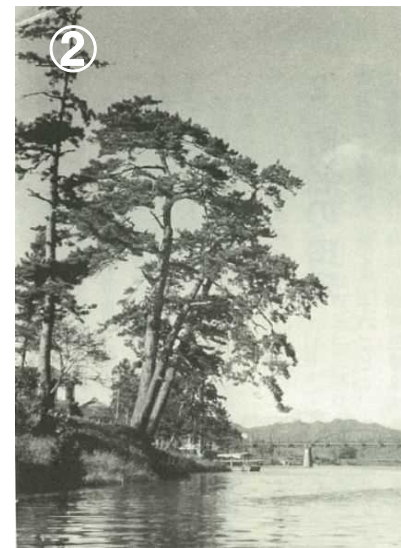
- ① 並松地区は、綾部市街地の東部に位置し、東を綾部井堰によって水が湛えられた由良川に面している。左岸沿いを走る府道広野綾部線（450号）に沿って住宅や旅館などがある。
- ② 並松地区はかつては市内第一の景勝地であったと言われている。地名の由来となった松並木が存在したが、現在は見るできない。
- ③ 今は夏の水無月祭だけ、当時の賑わいをしのぶことができる。

【並松史<並松町自治会2005> より抜粋】



並松地区風景（写真手前：左岸沿いの旅館）【昭和初期】

（出典：神戸市絵葉書資料館HP）



並松の松並木【昭和30年代】

（出典：並松史<並松町自治会2005>）

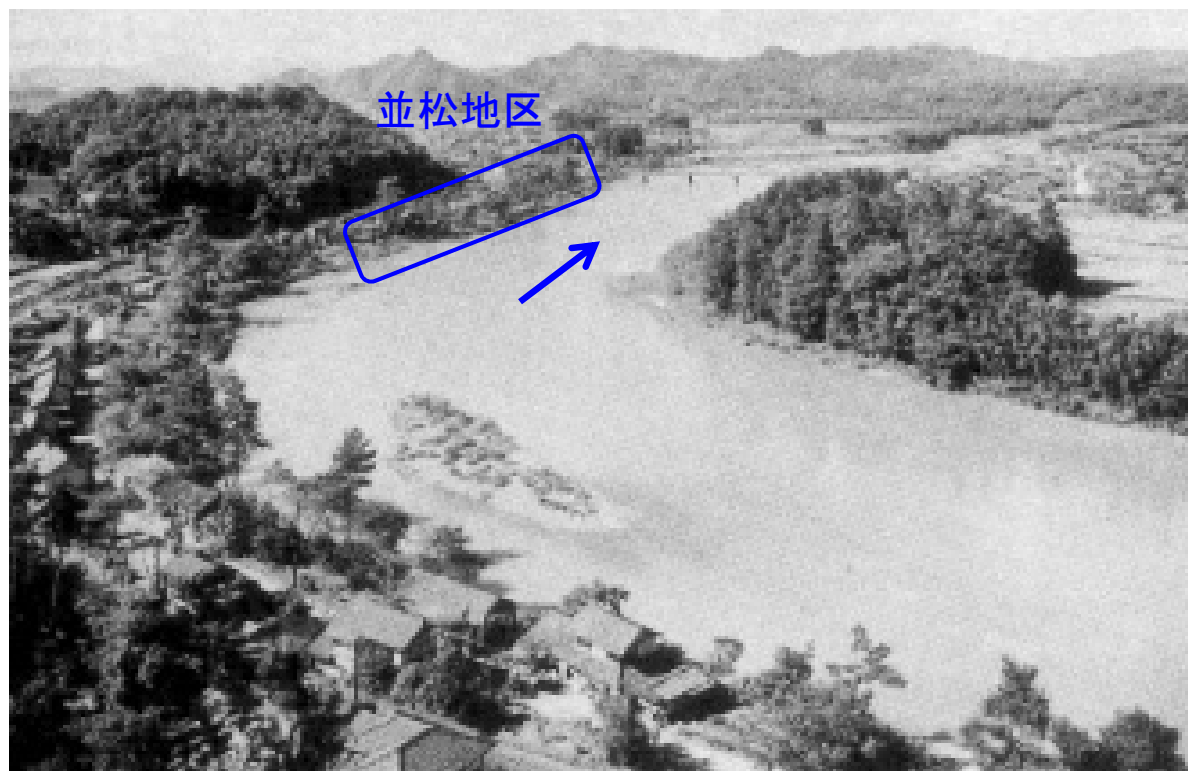


水無月祭での花火【現在】

（出典：綾部市観光ガイドHP）

1.並松地区の歴史(風景 昭和20年代)

- 井根山から遠望した由良川。
 - 綾部井堰によって由良川の水が湛えられた市内第一の景勝地であった。
- 【目で見える福知山・綾部の100年<郷土出版社1995>より抜粋】



並松風景【昭和20年代】

(出典：目で見える福知山・綾部の100年<郷土出版社1995>)



写真位置図



井根山からの眺望【現在】

1.並松地区の歴史(風景 舟遊び・ボート遊び)

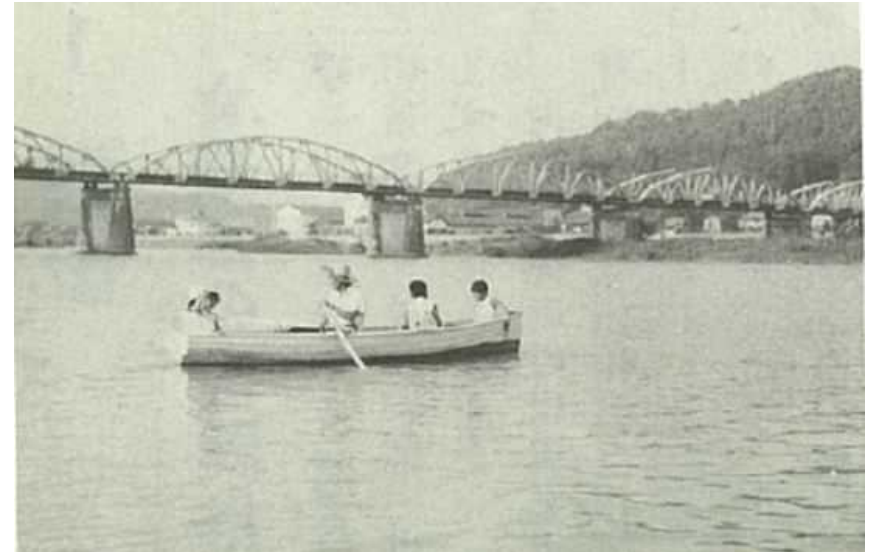
- 並松を中心とする観光施設は、明治40年頃から遊船場として知られ、夏には昼も夜も歓声が断えない観光地であった。和船や屋形船が浮かぶ風景には趣があった。
- 昭和期にも由良川ではボート遊びが盛んにおこなわれており、恋人同士の語らいの場所であった。また当時は遊泳も可能であった。

【並松史<並松町自治会2005> より抜粋】



並松遊船場【明治45年】

(出典：目で見える福知山・綾部の100年<郷土出版社1995>)



並松ボート遊び【昭和34年】

(出典：並松史<並松町自治会2005>)

1.並松地区の歴史(綾部橋 旧橋)

- 綾部町内の由良川に仮橋が架けられたのは明治9年頃。
- 明治27年11月に本格的な木造橋が初めて完成したが明治29年8月の洪水で流出。
- 明治31年5月に現在の綾部大橋の場所に出来た木造新橋も翌年8月に再び流出。
- その後も洪水のたびに橋の修理を繰り返す状況だった。

【並松史<並松町自治会2005> より抜粋】



綾部橋を味方側より望んだ景色で、右上は熊野新宮神社の森、木材の集積場や遊舟場の舟、松並木などが見える。

綾部橋【大正末期】

(出典：目で見える福知山・綾部の100年<郷土出版社1995>)

1.並松地区の歴史(綾部大橋)

- 昭和4年、鉄骨コンクリート造りの綾部橋が架橋された。
- 橋長210m 径間長29m 幅員5.2mとしたライズを抑えたポニー形式の鋼製7連曲弦ワーレントラス橋。床版はRC造。
- 木造でつくられた旧橋の形式が踏襲されている。

【国指定文化財等データベースHPより抜粋】



綾部大橋【昭和4年～現在】



竣工式の当日。式典に続いて真新しい橋の渡り初めが行われた。

(出典：あやべ市民新聞on web HP)



松並木沿いのベンチに座り、由良川と綾部大橋を眺める。

(出典：まちかどの西洋館別館・古写真・古絵葉書展示室HP)

1.並松地区の歴史(並松の松並木の変遷①)

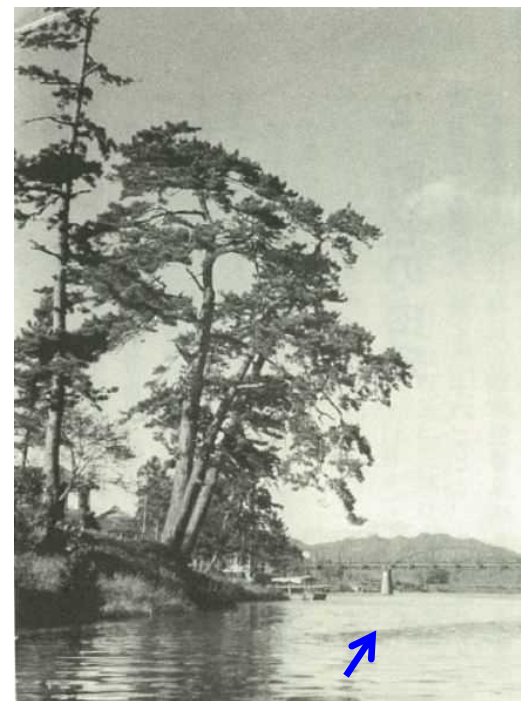
- 江戸時代初期、鳥羽から移封された初代綾部藩主の九鬼隆季が、由良川河畔に松を植え、それが美しい大松になった。
- 明治後期、当時の並松区長も務めた四方敬助は、私財を投げ打って並松や味方の川原に桜や松などを植えたり、ベンチを設けたりして遊覧地開発の為に尽力した。

【並松史<並松町自治会2005> より抜粋】



並松の松並木【明治40年代】

(出典：並松史<並松町自治会2005>)



並松の松並木【昭和30年代】

(出典：並松史<並松町自治会2005>)

1.並松地区の歴史(並松の松並木の変遷②)

- 昭和初期、松並木は上流まで生えていたが、昭和28年の大洪水によって、綾部大橋下流の堤防が約300mにわたり根こそぎ破壊され、綾部井堰も決壊した。この際、並松河畔の松の多くが流出した。
- 平成2年には、松枯れが進んだ最後の2本の松の伐採が決定した。真下の府道広野綾部線の交通に危険が生じたことが理由である。現在では河畔に松は見られない。

【並松史<並松町自治会2005> より抜粋】



並松地区の被害【昭和28年】

(出典：並松史<並松町自治会2005>)

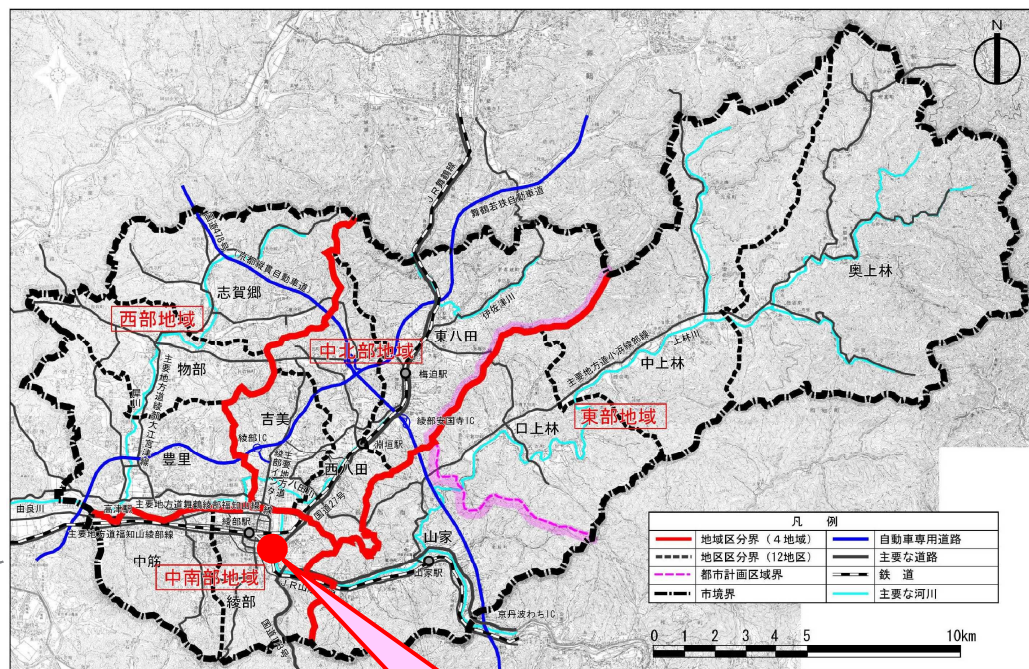


並松地区の被害【昭和28年】

(出典：並松史<並松町自治会2005>)

2.並松地区の概要(都市計画区域)

- 綾部市は京都府において、都市計画区域に指定されている。
- 綾部市の都市計画では、並松地区は中南部地域の綾部地区に位置する。



並松地区

図 綾部市都市計画の地域区分

図 京都府の都市計画区域の指定状況
(平成28年5月現在)

2.並松地区の概要(都市計画マスタープラン)

○綾部市都市計画マスタープランでは、並松地区の位置する中南部地域における「まちづくりの整備方針」として以下の方針が掲げられている。

➤ 主要な都市施設整備の方針

【上下水道・河川】

由良川堤防未整備区間の築堤や河川改修などの治水対策を関係機関とともに推進し、**自然と人が共生できる水辺空間の創出**を図ります。

➤ 主要な景観形成の方針

【歴史的資源と調和した安らぎを感じる景観の保全】

京都府景観資産として登録された“グンゼ記念館・博物苑の近代化産業遺産とその周辺”、京都の自然200選（歴史的自然環境部門）に選定された八幡山（高津八幡宮・高津城跡）などの歴史的資源を保全するとともに、**周辺地域においても、歴史的資源と調和した景観の保全、形成**を図ります。

出典：綾部市都市計画マスタープラン

2.並松地区の概要(綾部大橋)

- 綾部大橋は、平成17年に国の登録有形文化財として登録されている。
- 現在、道路橋として活用されており、昭和初期の風景を今に伝える貴重な橋梁である。

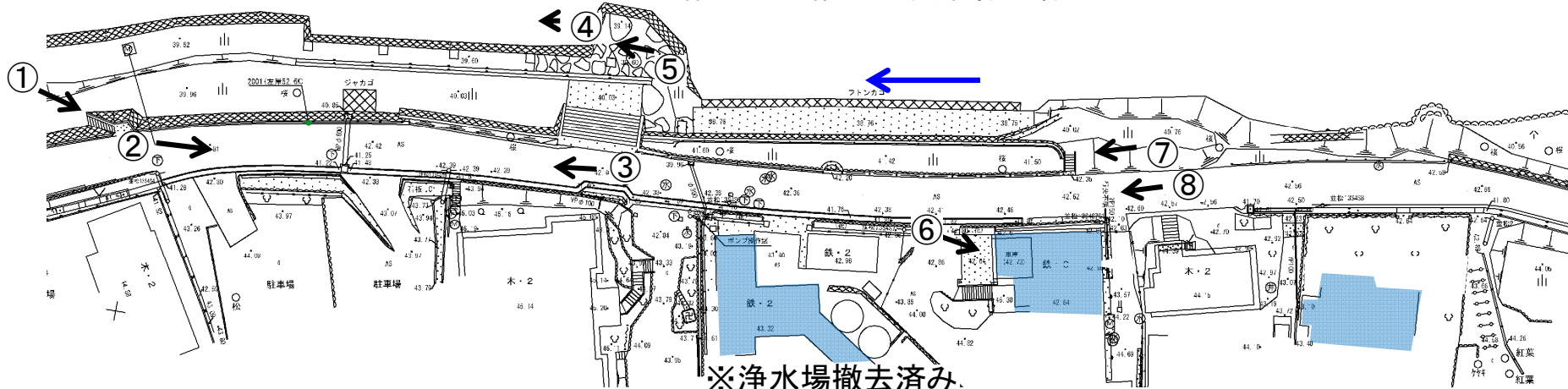


写真 並松地区の水辺より望む綾部大橋（右の写真は桜開花時期）

2.並松地区の概要



河岸へのアクセスとして階段が整備され、船着き場の跡が残る



※浄水場撤去済み

■ : HWL以下建物



河岸には府道が走っている

川から狭い場所が生活の場となっている

図 下流側（綾部大橋から紫水荘）

写真⑨



写真⑩

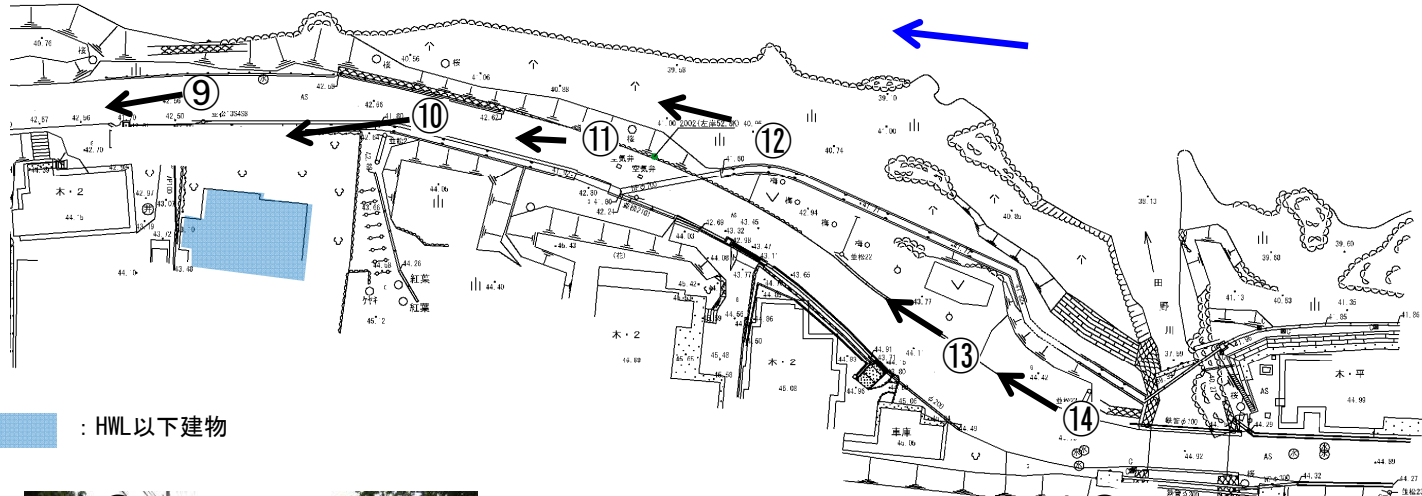


写真⑫



川から狭い場所が生活の場となっている

桜が生育している



写真⑪



写真⑬



写真⑭



川から狭い場所が生活の場となっている

図 上流側（紫水荘～田野川）

2.並松地区の概要(府道の現状等)

○隣接住宅へは府道広野綾部線よりアプローチすることとなっている。

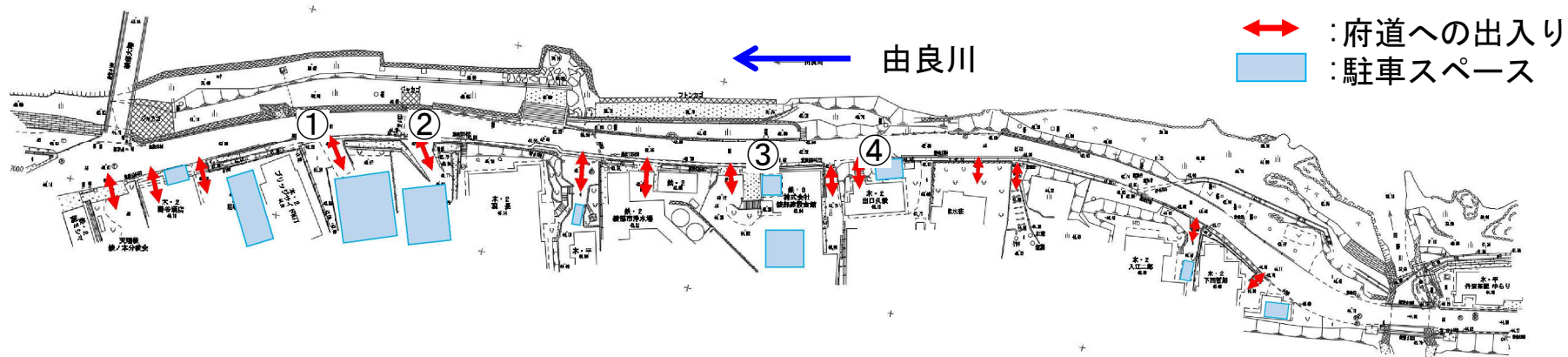


図 府道広野綾部線からの隣接住居へのアクセス状況

写真①



写真②



写真③



写真④



府道広野綾部線からのアクセス状況

2.並松地区の概要

○河川の利用施設として、水辺へ降りる階段（2箇所）、親水階段護岸（1箇所）、船着場が整備されている



階段①



階段②（親水階段護岸）



階段③



船着場

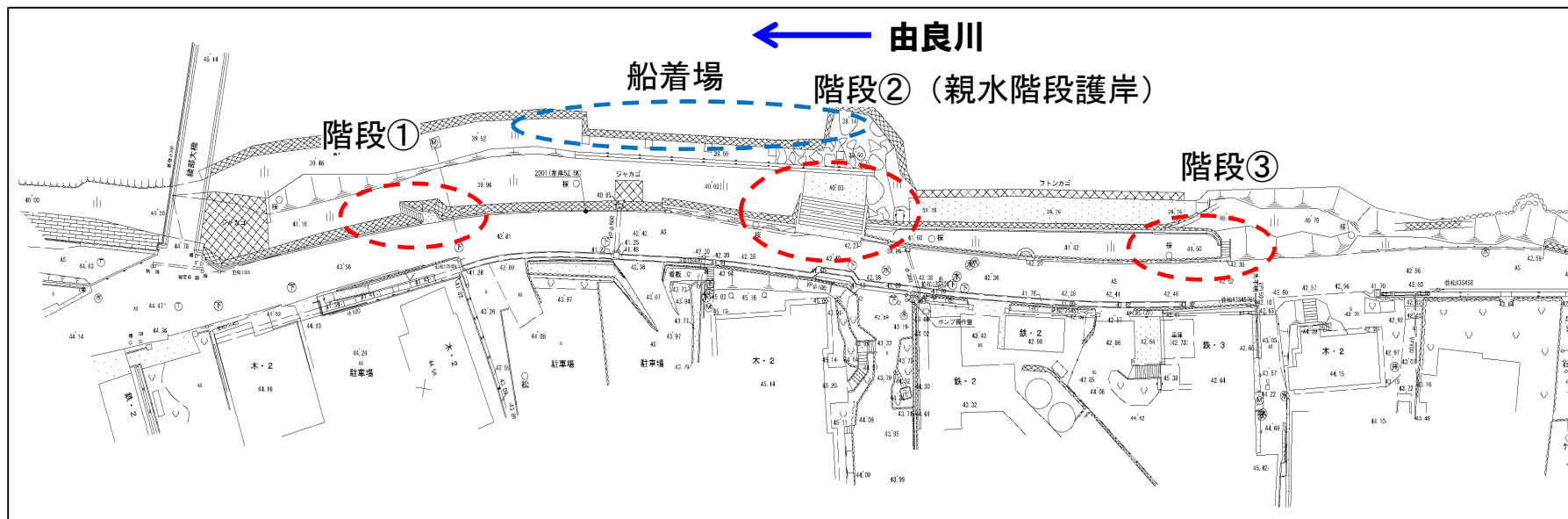


図 並松地区の親水施設

○並松地区ではカヌー大会、川施餓鬼等のイベントが開催されている。



川施餓鬼（毎年8月）